

レジリエントなインフラを実現するために

オートデスクのソリューションで、レジリエントなインフラの計画・設計・施工・メンテナンスが実現します。プロジェクトのチーム・データ・ワークフローが、インフラ資産のライフサイクル全体を通じてひとつにつながります。

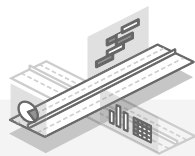
一般道路や高速道路が人々や各都市をつなげるように、オートデスクの共通データ環境はプロジェクト関係者やプロジェクトデータを結び付けます。オートデスクは Esri との戦略的な提携を通じて、BIM と GIS の価値を融合しました。設計データと位置情報を組み合わせることで、プロジェクトチームは次のようなことが可能になります。

- 建設環境が自然環境に及ぼす影響を詳細に把握
- 設計の検討・調査で、実際の環境条件を考慮
- すべてのプロジェクト関係者がシームレスにコラボレーション
- 十分な情報に基づいて設計上の意思決定を行うことで、ミスを減らし、遅延を回避

経済・環境・社会に良い影響をもたらすインフラを計画・設計・施工・メンテナンス



コネクテッド データでプロジェクトのエコシステムを強化



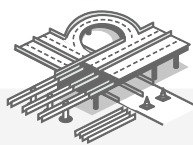
計画

現況をキャプチャおよびデジタル化し、データを活用して未来を予測し、十分な情報に基づいた意思決定を行うなど、インフラプロジェクトの計画プロセスが改善します。



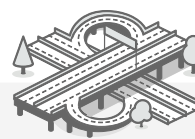
設計

プロジェクト関係者とシームレスにコラボレーションしながら、製図から注釈付け、設計、2D/3Dモデルの調整までを効率的に行えます。自動的な干渉チェックと指摘事項管理で、施工可能性が向上します。



施工

現場とプロジェクト管理のワークフローを連携させることで、確実に施工を進めることができます。リスクを軽減し、品質を高め、迅速に施工し、予算と期日どおりにプロジェクトを完了できます。



運用

現場やオフィスのデータを、共通データ環境で一元管理。関係者が必要なドキュメントに簡単にアクセスできます。現況モデルの精度が上がり、資産のメンテナンスを最適化できます。

エコシステム： データの収集・管理・共有が容易になり、チームの連携が強化され、設計コラボレーションが促進されます。

インサイト： 組み込みの機械学習とAIのパワーを活用して、リスクを予測・防止・管理します。資産ライフサイクル全体の計画・管理の透明性を確保できます。

20 万ドル

年間の人件費を削減



450 万ドル

現場で生じる不整合を減らすことでコストを削減



30 日

300 項目の指摘事項を解決
(以前は 600 項目の解決に
6 ヶ月を要した)



“

Autodesk Construction Cloud™ では、プロジェクト データにリアルタイムでアクセスしながら、設計意図を反映させて施工可能性を高めることができます。これにより、プロジェクト関係者間の説明責任が明確になり、プロジェクトのリスクを最小限に抑え、予算と期日どおりにプロジェクトを進めることができます。

Priscilla Benavides 氏

New Mexico DOT 社 テクニカルサポート エンジニア

 **AUTODESK**

<https://autodesk.co.jp/>